

2025年12月19日
株式会社読売新聞東京本社
フューチャーアーキテクト株式会社

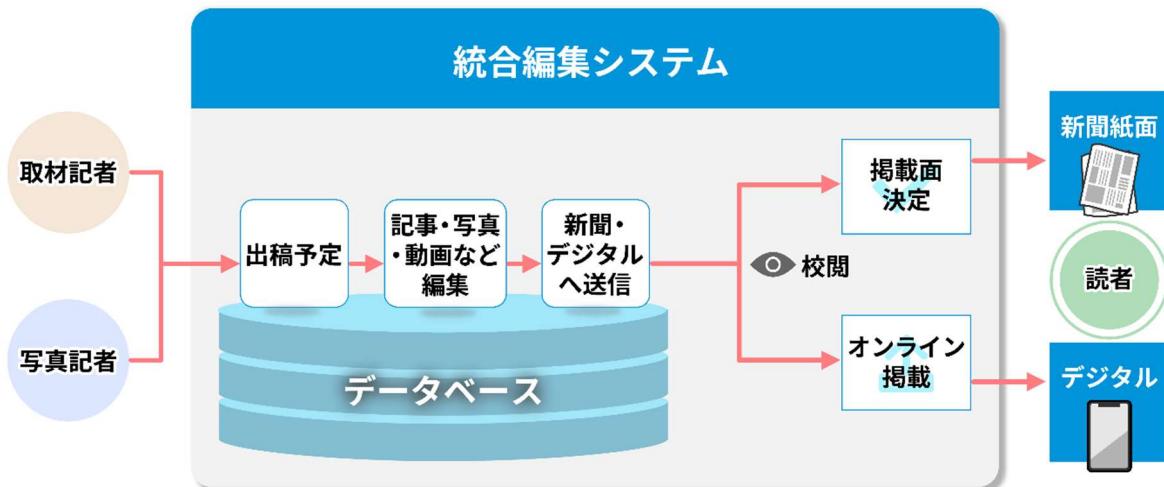
読売新聞とフューチャーが共同開発したクラウド型統合編集システム 「GlyphFeeds 共有サービス」が読売グループの各新聞社で稼働開始

株式会社読売新聞東京本社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:村岡彰敏)とフューチャー株式会社(証券番号:4722)の主要事業会社であるフューチャーアーキテクト株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:谷口友彦)は、新聞制作システムを共同開発する基本合意に基づき、紙面とデジタルの両方の媒体に対応したクラウド型統合編集システム「GlyphFeeds(グリフィード)共有サービス」を共同開発し、2025年11月下旬より稼働開始したことをお知らせします。

「GlyphFeeds 共有サービス」は、フューチャーが2019年に開発したメディア業界向けコンテンツ管理システム(CMS)「GlyphFeeds」をベースに、読売新聞の編集ノウハウを統合したクラウド型統合編集システムです。

紙媒体・デジタル媒体の両方に対応しており、記事や写真、動画などの全コンテンツをデータベースで統合管理し、取材予定から編集・掲載までをシームレスに行することで編集現場の改革を力強く推進します。2025年11月下旬から12月上旬にかけて読売新聞東京本社・大阪本社・西部本社、報知新聞社、福島民友新聞社の読売グループ各新聞社で利用を開始しています。

また、本サービスは地方紙やエリア紙をはじめとする同業他社の皆様のご利用を想定しています。メディア業界での共同利用が進めば、従来型の複雑なシステムの維持管理コストの削減や、記者や編集者の働き方改革が進み、業界全体の課題解決につながると考えます。



■GlyphFeeds 共有サービスの特長

業務改革:

紙、デジタルなどの媒体ごとに分断されていた素材を一つに統合し、編集と出稿の作業負担を削減します。細かく閲覧権限を設定することができ、記事や写真だけでなく機密性の高い取材メモの記者間共有も効率化します。編集体制の強みを生かしながら、自社のカルチャーに合わせた導入が可能です。

働き方改革:

柔軟なワークフロー制御機能により、部門や業務単位で段階的にペーパーレス化を進めることができます。また、Web/クラウド技術を全面的に採用しているため、時間や場所に縛られない多様な働き方を可能にします。

変化対応力の強化:

動画や AR/VR、メタバースといった将来の新たなコンテンツフォーマットにも対応可能な機能を備えています。さらに、蓄積されたコンテンツを活用した新規サービスの迅速な立ち上げにも貢献します。

※「GlyphFeeds」はフューチャー株式会社の登録商標です。

参考プレスリリース：

読売新聞とフューチャーが共同で編集 DX を始動 新聞制作システムの共同開発に基本合意

<https://info.yomiuri.co.jp/pressrelease/4647.html>

■株式会社読売新聞東京本社

代表者：代表取締役社長 村岡 彰敏

設立：2002年7月1日（読売新聞グループ再編により新設）

業容：読売新聞は1874年11月2日創刊。世界最大の発行部数を誇る新聞事業のほか、多彩なスポーツ・文化・エンターテインメント事業を展開している。

URL: <https://info.yomiuri.co.jp/index.html>

■フューチャーアーキテクト株式会社

代表者：代表取締役社長 谷口 友彦

設立：2016年4月1日（フューチャー株式会社よりITコンサルティング事業を継承）

業容：「経営とITをデザインする」コンサルティングファーム。流通、金融、ヘルスケア、メディアなど幅広い業界に対し、経営とITの両面でDX推進と改革をサポートしている。

URL: <https://www.future.co.jp/architect/>